

令和7年度

事業報告書

特定非営利活動法人全国脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会

1 事業の成果

令和7年度は、コロナの影響はなくなり、またこの間に築いたオンライン活動で、医療講演会・相談会は会場とオンライン同時配信が定番となり、さらに遠方で参加できなかった方々とのオンライン交流会なども実施することができるようになった。ふれあいカフェでは、年齢を問わず参加しやすい行動型の交流会を実施した。患者・家族への情報発信として、会報は隔月で6回発行、ホームページもより頻回に更新し情報提供を行った。出版物の普及にも努めた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【8314】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
支援事業	患者を中心にその家族と介護・医療・その他の関係者による交流会を、コロナ前とほぼ同様の集会形式で開催ができた。	令和7年5月 令和7年7月 令和7年9月 令和7年11月 令和7年1月 令和7年3月	東京港区 東京都障害者福祉会館	延べ 50人	集会形式: 都内と近郊、並びに 地方都市の方々、オンライン: 全国の患者・家族、 医療・福祉関係者等	延べ出席者 約180人	120
支援事業	「ふれあいカフェ」は、患者自身で企画するイベントで公園や施設など外出企画も多い。4,10月は葛西臨海公園へ、2月には音楽リハビリをテーマにしたイベントを開催。また、8,12月はオンラインで遠隔地や外出がしにくい方を対象とし、サポートなどテーマを絞った交流会も開催。	令和7年4月 令和7年8月 令和7年10月 令和7年12月 令和7年2月	各開催地 およびオンライン	延べ 15人	全国の患者・家族、 医療・福祉関係者、一般人	延べ出席者 約20人	33
相談事業	友の会の日常業務として、本疾患に関する情報を収集し患者・家族からの電話・面接、メールによる生活相談の実施。会員の入退会業務や電話による医療相談を実施した。	毎週火・木・金曜日10～15時に理事と事務局員が応対。	当会事務所	延べ 450人	全国の患者・家族、 医療・福祉・行政関係者	患者数は約40000人	4206

啓蒙啓発事業	医療講演会・相談会は昨年同様、集会形式+動画配信による開催となった。講師に [redacted]をお迎えし、演題「多系統萎縮症の克服に向けて」で講演会を、その後講師と医療顧問の先生方による医療相談会を実施し、患者・家族からの事前質問、会場質問に回答して頂いた。	令和7年9月	品川区立総合区民会館 「きゅりあん」およびオンライン	15人	全国の患者・家族、医療・福祉関係者、一般人	参加者266名	608
情報提供事業	会報の発行 会報は「友の会ニュース」として障害者団体定期刊行物協会の審査を受け定価450円(会費を含む)で隔月に発行した。その内容は、本疾患に関する医療情報、友の会の活動内容、会員からの投稿等で紙面の改善を図り、情報交流の手段としての役割を果たした。	4月から隔月に発行	当会事務所	延べ40人	患者・家族、医療・福祉関係者、一般人	1600人	1752
情報提供事業	刊行図書販売 「Q&A172」を全国の患者、家族へ書籍を普及した。 「脊髄小脳変性症・多系統萎縮症のリハビリテーション」の書籍を普及した。	4月から	当会事務所 当会事務所	延べ15人 延べ15人	患者、家族、医療・福祉関係者、一般人		1052
情報提供事業	ホームページによる情報発信。医療講演会、交流会の開催情報などを提供した。2023年12月にリニューアル。	4月から	当会事務所	延べ10人	患者、家族、医療・福祉関係者・一般人		175
支援事業	関係団体との連携 日本難病・疾病団体協議会(JPA)主催の国会請願、各政党への陳情行動へ参加し、同協議会が実施した来年度予算や諸要求実現の国会請願署名活動で、全国の患者・家族から多くの署名と募金の協力を頂いた。	令和7年10月～令和8年2月		3人	署名数357名 募金40,000円		50

各地患者会の 連絡と支援事 業	各地患者会が人手不足、資 金不足などで実施できない 医療講演会、交流会などの 事業の支援。日常的な情報 提供や相互連絡。連絡協議 会として各地共同での陳情 行動。	随時 令和7年 6 月		10 人	全国各地 の患者会 33 か所		318
-----------------------	---	-------------------	--	------	---------------------------	--	-----

令和7年度 活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人全国脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会

(単位：円)

科	目	金 額	小計・合計
【A】 経 常 収 益			
1	受取会費		
	正会員受取会費	4,211,840	
	賛助会員受取会費	350,000	4,561,840
2	受取寄附金		
	受取寄附金	5,951,173	5,951,173
3	受取助成金等		
	受取助成金	620,000	620,000
4	事業収益		
	脊髄小脳変性症・多系統萎縮症患者・家族のための情報提供事業収益	565,900	565,900
5	その他の収益		
	受取利息・雑収入	433,156	433,156
経 常 収 益 計			12,132,069
【B】 経 常 費 用			
1	事業費		
	(1) 人件費		
	給料手当	2,820,377	
	(2) その他経費		
	印刷製本費	1,639,230	
	HP保守・開発費	174,800	
	会議費	608,202	
	旅費交通費	475,506	
	家賃	1,416,690	
	通信運搬費	246,260	
	減価償却費	0	
	水道光熱費	69,091	
	消耗品・備品・雑費	863,614	
事業費計		8,313,770	8,313,770
2	管理費		
	(1) 人件費		
	給料手当	247,849	
	(2) その他経費		
	会議費	100,494	
	旅費交通費	70,543	
	家賃	157,410	
	通信運搬費	27,362	
	減価償却費	0	
	水道光熱費	7,676	
	消耗品・備品・雑費	821,809	
管理費計		1,433,143	1,433,143
経 常 費 用 計			9,746,913
当 期 経 常 増 減 額 【A】－【B】・・・①			2385156
【C】 経 常 外 収 益			
	固定資産売却益	0	
経 常 外 収 益 計			0
【D】 経 常 外 費 用			
	返還助成金	430,500	
経 常 外 費 用 計			430,500
当 期 経 常 外 増 減 額 【C】－【D】・・・②			-430500
税 引 前 当 期 正 味 財 産 増 減 額 ①+②・・・③			1,954,656
	法人税、住民税及び事業税・・・④		70,000
	前期繰越正味財産額・・・⑤		16,115,211
次 期 繰 越 正 味 財 産 額 ③－④+⑤			17,999,867

令和7年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 全国脊髄小脳変性
症・多系統萎縮症友の会

(単位：円)

科	目	金額	小計・合計
【A】 資 産 の 部			
1	流動資産		
	現金預金	18,077,529	
	流動資産合計・・・①		18,077,529
2	固定資産		
	(1) 有形固定資産		
	工具器具備品	1	
	固定資産合計・・・②		1
【A】 資 産 合 計 ①+②			18,077,530
【B-1】 負 債 の 部			
1	流動負債		
	未払法人税等	70,000	
	預り金	7,663	
	流動負債合計・・・③		77,663
2	固定負債		
	固定負債合計・・・④		0
負 債 合 計 ③+④			77,663
【B-2】 正 味 財 産 の 部			
	前期繰越正味財産額	16,115,211	
	当期正味財産増減額	1,884,656	
正 味 財 産 合 計			17,999,867
【B】 負 債 及 び 正 味 財 産 合 計 【B-1】 + 【B-2】			18,077,530

令和7年度 財産目録

特定非営利活動法人全国脊髄小脳変性症・
多系統萎縮症友の会

(単位：円)

科	目	金額	小計	合計
【A】資産の部				
1	流動資産			
	現金預金			
	手元現金	202,688		
	みずほ銀行普通預金	17,816,397		
	みずほ銀行普通預金（ふれあい）	381		
	ゆうちょ銀行普通貯金	58,063		
	ゆうちょ銀行振替口座	0		
	流動資産合計・・・①		18,077,529	
2	固定資産			
	（1）有形固定資産			
	工具器具備品	1		
	固定資産合計・・・②		1	
【A】資産合計 ①+②				18,077,530
【B-1】負債の部				
1	流動負債			
	未払金			
	未払法人税等	70,000		
	預り金			
	源泉徴収税	7,663		
	流動負債合計・・・③		77,663	
2	固定負債			
	固定負債合計・・・④		0	
【B-1】負債合計 ③+④				77,663
【B-2】正味財産合計 【A】－【B-1】				17999867

令和7年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）
特定非営利活動法人 全国脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会

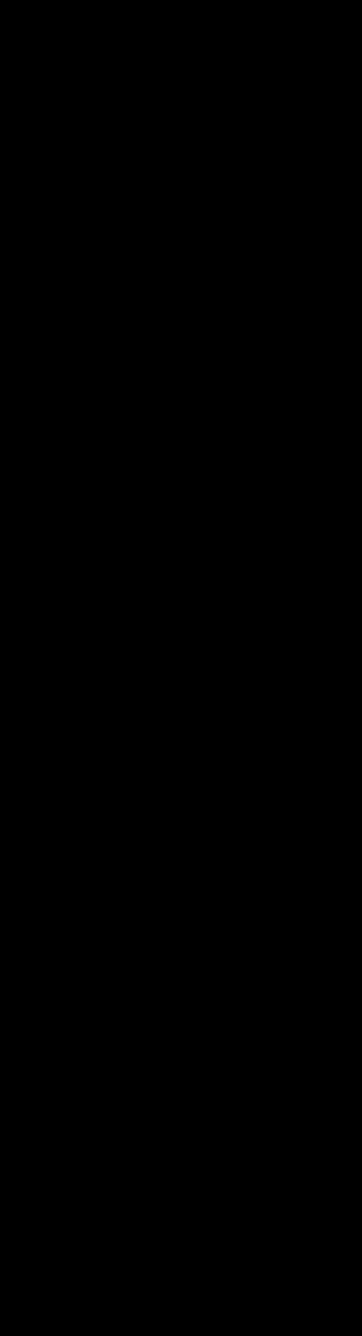
1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- ☒以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
☒各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名 どちらかに ○	(フリガナ) 氏名	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
1	☒ 理事・ ☐ 監事	ナカムラモトコ	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		中村 元子		
2	☒ 理事・ ☐ 監事	サクマハヤト	令和7年4月1日 ～ 令和7年6月30日	年 月 日 ～ 年 月 日
		佐久間 勇人		
3	☒ 理事・ ☐ 監事	ヤマザキタケシ	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		山崎 剛		
4	☒ 理事・ ☐ 監事	カリタミツオ	令和7年4月1日 ～ 令和7年6月30日	年 月 日 ～ 年 月 日
		刈田 光夫		
5	☒ 理事・ ☐ 監事	イワサキケイスケ	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		岩崎 恵介		
6	☒ 理事・ ☐ 監事	ワタナベタイチ	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		渡辺 太一		
7	☒ 理事・ ☐ 監事	イチカワショウタ	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		市川 勝太		
8	☒ 理事・ ☐ 監事	マルヤマヒロミ	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		丸山 裕美		
9	☒ 理事・ ☐ 監事	シオタヨシヒサ	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		塩田 芳久		

事業報告用

10	理事・監事	アカシハルミツ		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		明石 晴光			
11	理事・監事	ヒラオサトミ		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		平緒 智美			
12	理事・監事	マルヤマタクミ		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		丸山 拓巳			
13	理事・監事	ワダヨシタカ		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		和田 能卓			
14	理事・監事	シマモトコウ		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		島本 コウ			
15	理事・監事	ミヤノハラジュン		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		宮之原 遵			
16	理事・監事	ハギノモリショウ イチ		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		萩森 彰一			
17	理事・監事	ヌマタコウキ		令和7年7月1日 ～ 令和8年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		沼田 幸喜			
18	理事・監事	ヨシムラオサム		令和7年4月1日 ～ 令和7年10月18日	年 月 日 ～ 年 月 日
		吉村 治			
19	理事・監事	フクヤマナオコ		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		福山 直子			
20	理事・監事	ヤマザキマキコ		令和8年2月8日 ～ 令和8年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
		山崎 満紀子			

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人 全国脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会

	氏 名	
1	中村 元子	
2	山崎 剛	
3	岩崎 恵介	
4	渡辺 太一	
5	市川 勝太	
6	丸山 裕美	
7	塩田 芳久	
8	明石 晴光	
9	平緒 智美	
10	丸山 拓巳	
11	和田 能卓	
12	島本 コウ	
13	宮之原 遵	

14	萩森 彰一	
15	沼田 幸喜	
16	福山 直子	
17	山崎 満紀子	